

「未来を選択する会議」発足記念シンポジウム
高市早苗内閣総理大臣メッセージ

本日、「未来を選択する会議」の発足記念シンポジウムが盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げますとともに、発足にご尽力された関係者の皆様に深く敬意を表します。こうして社会の気運醸成に向けた民間主導の新たな組織が立ち上がることは、日本の未来を切り拓こうという強い意志のあらわれであり、私も大きな期待を抱いております。

しかしながら、私たちが直面している現実には、決して楽観できるものではありません。最新の統計によれば、2024年の日本人の出生数は約68万6千人にとどまり、また、合計特殊出生率は1.15に低下しており、いずれも過去最低の水準です。人口減少と少子化は、社会保障の維持、地方の活力、国の持続性までを揺るがす重大な課題です。

こうした課題に対して、他人任せにしているには前に進みません。私たち一人一人が「自分たちの手で、未来は変えていける」という意識をもつことが、何よりも大切です。そして、望ましい社会をどう築いていくかについて、自らが主体的に関わり、共に考え、共に行動していくことが、今まさに求められています。

「未来を選択する会議」が、その先導的な役割を担われることを期待しています。本会議の様々な取組が、経済界、労働界、地方自治体など社会のあらゆる分野や、若者世代をはじめとする全世代をつなぎ、活力ある社会の実現に向けて、新たな気運を生み出す力になることを心から願っています。

政府としても、皆様のご議論やご提言を真摯に受け止め、国民の皆様一人一人が明日に希望をもてる社会の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

結びに、これからの「未来を選択する会議」のご活動に心からエールをお送りするとともに、本シンポジウムの成功を祈念して、私の挨拶といたします。

令和7年10月27日

内閣総理大臣 高市 早苗